

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年10月28日		～ 令和7年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年11月7日		～ 令和7年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者から信頼を得たうえで事業を継続することができており、児童自身も楽しく通うことができています。	HUGを使い、日々の活動記録や利用者(児童)の様子を詳細に保護者へお伝えしており、送迎の際にも簡単にはあるが、頑張ったことや行ったことを通してやり取りする機会を設けている。また、HUGを活用したメッセージでのやり取りも迅速に対応することができる。	今後も保護者との連携を密にしながら事業を継続していくことで、安心して支援をお任せいただけるような事業所づくりにつなげていく。
2	利用者の年齢層がお互いに比較的近いということもあり、児童同士関わりやすい環境の中で過ごすことができる場を提供することができている。	児童同士で関わっていく中で大切なことを、遊び等を通して自然に学んでいく環境が作りやすくなっている。	児童同士で関わるきっかけなどを今後も職員間で試行錯誤しながら考えていき、自然な流れで楽しみながら学びにつながるような事業を築いていく。
3	お出かけイベントや公園遊びなど、地域資源をうまく活用した活動を定期的に開催している。	地域資源を使うだけでなく、普段活動している室内から出ることによって、室内では得られない経験を積むことができるようになっている。	今後も定期的に開催していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々活動内容の発信はしているが、時々どんな活動をしているのか分からないとの声があった。	まだオープンして間もないので、情報共有の方法などが浸透しきっていない可能性がある。	不明点などには丁寧に向き合ったりしながら、情報発信を継続していくことで、保護者とのコミュニケーションの機会を少しでも大切にしていきたい。
2			
3			